

## 御嶽山展望台

御嶽山展望台は、大島にある御嶽山の頂上近くに位置しています。この展望台からは、玄界灘を越えて、沖ノ島、壱岐、対馬および福岡市から北九州市までの九州の海岸線が見渡せます。御嶽山の頂上には、沖ノ島を遥拝する場所だったと信じられています。沖ノ島は聖地だと考えられており、一般人が立ち入ることはできません。古来人々は、沖ノ島が見える場所を訪れて、沖ノ島の神々に遠くから祈ってきました。

九州と朝鮮半島の間では、古くから海路で交易や移動が行われており、沖ノ島はこの古い海路上にあります。船乗りたちは、旅の安全を祈ったり、嵐から逃れるために沖ノ島に立ち寄ることもあったでしょう。展望台には英語の表示もあり、沖ノ島で発見された品々がいくつか紹介されています。これらの品は 4 世紀にまで遡り、安全な船旅のために宗像大社の神々へ捧げられたものだと考えられています。これらの品には、土器、金の指輪、青銅鏡などが含まれており、遠くは古代ペルシアから来たものもあります。

### 御嶽山周辺を歩く

この展望台は、「九州オルレ」の 1 コースの休憩所として人気があります。「九州オルレ」とは、九州各地に設けられたハイキング道の名称であり、各ハイキング道は 1 日で歩けます。大島コースの距離は 11km あまりで、歩き終えるのに約 4～5 時間かかります。御嶽山の頂上にある御嶽神社は、中津宮の一部です。中津宮は、宗像三女神を祀る宗像大社三宮の 1 つです。中津宮の本殿から急な道を登っていくと、御嶽山展望台と御嶽神社にたどり着きます。展望台までは約 20 分かかります。御嶽神社は展望台のそばにあります。